



長岡造形大学 4大学1高専単位互換科目

初開催!

「長岡学」をミライエ長岡で一般公開

長岡造形大学は、令和5年度から4大学1高専単位互換科目として「長岡学」を実施しています。

「長岡学」では長岡市の歴史、文化、産業、行政、自然などをテーマに、NaDeC構想を推進する長岡市内4大学1高専、長岡市、産業界の専門家が講師を務め、さまざまな切り口で講義がされています。

このたび、「長岡学」がミライエ長岡を会場に一般公開されることになりました。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

「長岡学」一般公開(4月開講分)

1 内 容

第1回

日 時：4月9日(火) 午後1時～2時30分

会 場：ミライエ長岡 5階 スタジオA

テーマ：ガイダンス+長岡の誕生と現在

講 師：長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授 渡邊 誠介

第2回

日 時：4月16日(火) 午後1時～2時30分

会 場：ミライエ長岡 4階 ミライエステップ

テーマ：長岡市のまちづくり

講 師：長岡市副市長 高見 真二

第3回

日 時：4月23日(火) 午後1時～2時30分

会 場：ミライエ長岡 5階 スタジオA

テーマ：長岡市の自然 大地と生態系の今・昔・未来

講 師：長岡市立科学博物館 学芸員 星野 光之介

※その他詳細は別添チラシを参照

2 その他

- ・市内事業所などにも案内をしています。
- ・事前申込は不要です。
- ・通年開催(15コマ)。5月以降分については、別途リリース予定。
- ・学生は主にオンラインで受講します。

長岡造形大学では、NaDeC 構想を推進する長岡市内4大学1高専、長岡市、産業界の専門家が講師を務め、長岡市の歴史、文化、産業、行政、自然など長岡地域に関する理解を深める「長岡学」を開講し、4大学1高専の単位互換科目として開放しています。今年度は、市民の皆さんにも「長岡学」を公開授業として開講します。ミライエ長岡にて、ぜひ長岡の魅力を再発見してください。



4月

火曜日

3時限 (13:00 ~ 14:30)

1

ガイダンス＋長岡の誕生と現在

4/9 火

長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授
渡邊 誠介ミライエ長岡
5F スタジオA

初回はガイダンスと長岡の誕生から現在までの変遷を解説します。

2

長岡市のまちづくり

4/16 火

長岡市副市長
高見 真二ミライエ長岡
4F ミライエステップ

新入生の皆さんが長岡を舞台に有意義な学生生活を送れるよう、長岡での1年を通してのくらし・イベントを紹介します。そして、長岡市に息づく「米百俵の精神」をキーワードに、長岡のまちの「成り立ち」や「精神性」を解説するとともに、長岡の目指すまちづくりについて説明します。

3

長岡市の自然
大地と生態系の今・昔・未来

4/23 火

長岡市立科学博物館 学芸員
星野 光之介ミライエ長岡
5F スタジオA

守門岳から日本海まで、長岡市に広がる多様な自然を紐解きます。普段何気なく見ている身の回りの景色は、どのように形作られたのでしょうか。新潟県や日本の他地域と比べたとき、長岡らしい自然とは何でしょうか。大地の成立、気候、植生、特色ある生物など、様々な視点から長岡の自然を学びます。

受講にあたって

- ・事前申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。
- ・本授業はミライエ長岡でのみ一般公開します。学生は主にオンラインで受講します。
- ・授業中は、基本的な受講マナーを守り、授業の妨げとにならないようにしてください。
- ・講師の都合等により会場や日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
- ・受講中の撮影や録画は固くお断りします。
- ・本公開授業は、NaDeC 連携のもと長岡市の協力により実施しています。

◎問い合わせ

長岡造形大学 教務課 0258-21-3351
長岡市 政策企画課 0258-39-2204

<p>1 4/9 火</p>	<p>ガイダンス＋長岡の誕生と現在 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科・教授 渡邊 誠介(主担当) この授業は長岡を知り尽くす講師陣が、多様なテーマのもと15回の講義をリレー形式でつなぎます。初回はガイダンスと長岡の誕生から現在までの変遷を解説します。</p>	<p>長岡造形大学 教養科目 1年・前期 2単位</p>	<p>火曜日 3時限 (13:00～14:30) オンライン形式 (Zoom)</p>
<p>2 4/16 火</p>	<p>長岡市のまちづくり 長岡市副市長 高見 真二 新入生の皆さんが長岡を舞台に有意義な学生生活を送れるよう、長岡の1年のくらし・イベントを紹介し、そして、長岡市に息づく「米百俵の精神」をキーワードに、長岡のまちの「成り立ち」や「精神性」を解説するとともに、長岡の目指すまちづくりについて説明します。</p>	<p>9 6/11 火</p>	<p>長岡市の産業・文化2 (発酵) 長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系・教授 小笠原 渉 発酵のまち長岡の最先端を学びます。発酵は、お酒や食品、医薬品のほか、バイオ燃料や汚水処理などにも大きく関与しています。国内で6箇所 (R4.12月時点) のみに指定されている地域バイオコミュニティの取組についても紹介します。</p>
<p>3 4/23 火</p>	<p>長岡市の自然 大地と生態系の今・昔・未来 長岡市立科学博物館 学芸員 星野 光之介 守門岳から日本海まで、長岡市に広がる多様な自然を紐解きます。普段何気なく見ている身の回りの景色は、どのように形作られたのでしょうか。新潟県や日本の他地域と比べて、長岡らしい自然とは何でしょうか。大地の成立、気候、植生、特色ある生物など、様々な視点から長岡の自然を学びます。</p>	<p>10 6/18 火</p>	<p>長岡市の産業・文化3 (工業) 工業都市・長岡の誕生 長岡工業高等専門学校 一般教育科・教授 田中 聡 江戸時代初頭、信濃川沿いに新たに建設された水辺のまち長岡(水都)は、政治都市(藩都)・商業都市(商都)として栄え、明治時代半ば以降は、東山油田の開発とともに工業都市(工都)の顔をもつようになり、やがて学園都市(学都)としての特徴をあわせ持つようになります。長岡の誕生から40年余のあゆみを振り返りつつ、工業都市(工都)への変貌について考えます。</p>
<p>4 5/7 火</p>	<p>豪雪地長岡 長岡技術科学大学 教授 上村 靖司 法律で豪雪地帯に指定される地域は国土の半分を占めるが人口はわずか15%です。長岡市の大半はその中でも特に雪深い特別豪雪地帯に指定され、豪雪地ならではの独自の文化や技術が育まれてきました。消雪パイプに代表される克雪技術や夏まで雪を保存して活用する利雪技術などを紹介します。</p>	<p>11 6/25 火</p>	<p>長岡市の産業と文化4 (医療・福祉) 長岡崇徳大学 看護学部看護学科・講師 角山 裕美子 地元の生活に密着した医療福祉を知る。長岡市内の医療・福祉の変遷と看護教育の歴史を辿りながら、全国で先駆的に実践されている地域包括ケアシステムの取り組みを概観し、看護の視点から地元固有の文化、人々の暮らしについて考えます。</p>
<p>5 5/14 火</p>	<p>長岡市の歴史1 通史編 原始・古代から現代まで 長岡市歴史文書館 館長 田中 洋史 長岡地域の歴史を原始、古代、中世、近世、近代、現代の時代区分に沿って通史的に学びます。火焔土器、官衛遺跡、荘園、戦国大名、長岡城、戊辰戦争、国漢学校、花火、油田、長岡空襲、中越地震などをキーワードに、「地域」で積み上げられてきた固有の「歴史」と「文化」を探ります。</p>	<p>12 7/2 火</p>	<p>災害と長岡 福島県立博物館 主任学芸員 筑波 匡介 長岡は、何度か大きな地震を経験しただけでなく、水害、土砂災害、豪雪といった自然災害と常に向き合っている地域でもあります。災害で被害を受けてもそこから立ち上がる強さを持った地域性について、新潟県中越地震の被災地を題材として、どのように復旧・復興してきたのかを共有し、災害からの復興とはなにかを一緒に考えます。</p>
<p>6 5/21 火</p>	<p>長岡市の歴史2 テーマ史編① 北越戊辰戦争を読むー長岡藩の一兵士の従軍日記からー 新潟県立歴史博物館 専門研究員 田邊 幹 近世から近代に切り替わる歴史の変換点で発生した戊辰戦争で、河井継之助に率いられた長岡藩は薩摩藩・長州藩などの新政府軍と戦い、長岡は戦火に焼かれることになったことは広く知られています。当時を生きた個人個人が戊辰戦争をどのように捉えたのかについて、長岡藩の一兵士の従軍日記から、一兵士の目にはこの戦争がどのように映ったのかを読み解きます。</p>	<p>13 7/9 火</p>	<p>長岡市の商業・ビジネス 長岡市における大型商業施設の変遷 長岡大学 経済経営学部・准教授 生島 義英 昭和40年代、大和長岡店をはじめとする百貨店が大手通り沿いに4店舗に店を構え、長岡駅前大手通り周辺が長岡市の商業の中心地でした。長岡市中心市街地の商業施設変遷を示すとともに、どのような理由で商業の中心が川西エリア・郊外に移行したかを考えていきます。</p>
<p>7 5/28 火</p>	<p>長岡市の歴史3 テーマ史編② 三六・三八豪雪 新潟県立歴史博物館 専門研究員 田邊 幹 長岡の歴史の中で、いくつかある名前をついた豪雪の中でも大きな被害が出たことが知られている昭和36年、38年の豪雪がどのようなものだったのか、なぜ歴史上の出来事として知られるようになったのか、豪雪・雪害の歴史とともに、近代史・現代史のなかから考えます。</p>	<p>14 7/16 火</p>	<p>長岡市の商業・ビジネス 長岡の魅力を活かしたローカルビジネスモデルについて SUZUGROUP (有) 寿々瀧 代表取締役 鈴木 将 飲食サービス事業から、食品販売、体験事業、宿泊事業まで地場食材を活かしたレストラン、グローサリット、宿などを運営するSUZUGROUPの実体験をもとに、長岡の食文化や独自性、ここだけにしかない魅力を活かしたローカルビジネスモデルについてお話しします。</p>
<p>8 6/4 火</p>	<p>長岡市の産業・文化1 (農業) 長岡市農林水産部農水産政策課 主任 大竹 聡史 長岡市は、昔から川の氾濫がもたらす肥沃な土地と豪雪がもたらす豊かな水により、稲作を中心に農業を営んできました。ここでは、農業の中心である稲作、枝豆やレンコンなどの長岡産野菜の生産やブランド化、ICT技術を活用したスマート農業などの取組について学びます。</p>	<p>15 7/23 火</p>	<p>長岡から未来へ 長岡の地と人たちは君をきっと応援します。 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科・教授 渡邊 誠介 (1年生の場合) 長岡で学生でいる4年間で何をしたい? 社会に出てから何をしたい? 未来に向かって、わたしの夢を15秒で語ろう! 大雑把でもいい、叶いそうもない夢でもいい。逆に小さな夢でもいい。名乗り不要、顔出し推奨。</p>